

各位

上場会社名 株式会社 ヤマザキ
 代表者 代表取締役社長 山崎 好和
 (コード番号 6147)
 問合せ先責任者 取締役総務部長 大杉 幸弘
 (TEL 053-434-3011)

業績予想の修正及び特別利益(投資有価証券売却益)の発生に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結業績予想を下記の通り修正いたしました。

また、2021年11月5日付の取締役会決議に基づき、投資有価証券の一部売却を決議したことにより、下期において特別利益(投資有価証券売却益)が発生する見込みとなりましたので、2022年3月期通期連結業績予想についても、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,190	25	20	13	2.93
今回修正予想(B)	1,204	△133	△127	△125	△28.17
増減額(B-A)	14	△158	△147	△138	
増減率(%)	1.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	1,032	△224	△221	△226	△51.13

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,500	55	50	36	8.11
今回修正予想(B)	2,500	55	50	116	26.14
増減額(B-A)	0	0	0	80	
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	222.2	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	2,317	△375	△369	△378	△85.32

修正の理由

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

売上高につきましては、工作機械部門において、新型コロナウイルス感染症の影響により、客先の設備投資計画の見直しや半導体不足による納期遅延等が発生したことにより減少したものの、輸送用機器部門においては、新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、予想以上の販売回復により増加したことにより、概ね予想通り推移する見込みであります。

利益につきましては、工作機械部門において、売上高の減少による固定費をカバー出来なかったことに加え、半導体不足により、代替品を手配したことによるコストアップ等が発生したため、当初予想を下回る見込みであります。

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

売上高、営業利益、経常利益につきましては、概ね予想通り推移する見込みであります。
 親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記特別利益の発生により当初予想を上回る見込みであります。

● 特別利益(投資有価証券売却益)の発生について

当社は、コーポレートガバナンスコードに基づく政策保有株式の方針見直しにより、下期において政策保有株式(4銘柄)を売却し、投資有価証券売却益8千万円を計上する見込みであります。

以上